

2026年(令和8年)2月5日

学校法人冲永学園

帝京短期大学

帝京短期大学、「冲永学園文化芸術研究センター」を設置

— 建学の精神「礼儀・努力・誠実」を基盤に、地域と共に創する文化芸術教育を推進

—

学校法人冲永学園(所在地:東京都渋谷区)が運営する帝京短期大学は、建学の精神である「礼儀・努力・誠実」を礎に、文化芸術教育のさらなる充実・改善に向けた検討会議の審議内容を踏まえ、2026年4月に「冲永学園文化芸術研究センター」を設置いたします。

本センターは、帝京短期大学附置の教育研究機関として、情報・文化が集積する本学周辺地域が発信する多彩な芸術や最新のカルチャーを研究対象とし、文化芸術分野における学術的探究と実践を推進します。

また、研究成果を本学の横断的な教育へ還元し、変化の激しい社会において創造性を發揮できる「アート型思考」を備えた人材育成をめざします。さらに、地域の文化振興や芸術活動との連携を深め、地域社会の発展にも寄与してまいります。

■「冲永学園文化芸術研究センター」設置の背景

帝京短期大学は、家政科の設置が淵源となっており、近年高まる文化芸術分野への社会的関心や、地域文化資源を活かした教育の必要性を再認識し、2024年度より文化芸術教育の充実・改善を目的とした検討会議を設置し、教育体制・研究体制の強化について議論を重ねてまいりました。

その審議内容をもとに、学内外の文化芸術リソースを有機的につなぎ、学生の学びと地域の文化発展に資する新たな拠点として本センターの設置を決定いたしました。

■センターの主な目的と機能

① 文化芸術領域における研究の推進

- 地域で展開される多様な芸術活動、現代カルチャー、メディアアート等に関する研究
- 文化芸術の社会的役割や教育的価値に関する調査・分析

② 横断的な教育とアート型思考の育成

- 研究成果を授業・プログラムに反映し、創造性・批判的思考・表現力を養う教育を実施
- 専攻や領域を超えた学びの機会を提供

③ 地域との連携と文化振興への貢献

- 地域の芸術家、文化施設、団体等との協働プロジェクトの推進
 - 公開講座・ワークショップ・展示等を通じた地域文化の発信
-

■今後の展開

本センター開設記念事業として、芥川賞作家、画家である 辻 仁成先生を「総合プロデューサー」としてお迎えし、オンラインを中心とした公開型アート教育プログラム「TEIKYO PARIS ONLINE ART COLLEGE(TPA)」を開講いたします。詳細は、下記専用ホームページをご参照ください。

URL <https://www.teikyo-paris-art.com>



2026 年度以降、研究プロジェクトの実施、地域連携イベントの開催、教育プログラムの開発など、段階的に活動を拡大していく予定です。

帝京短期大学は、文化芸術を起点とし、学びと地域の新たな価値創造に取り組んでまいります。